CS こひつじ科礼拝式次第

2023 年 2 月 12 日　午前 9 時 30 分

２０２３年度年間テーマ：「主イエスの教えに聞き従うものになろう」
テーマ曲：ワワワいっしょに（９２番）
暗唱聖句：「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」　マタイによる福音書６章３３節

７、すずめや　はとを（こどもさんびかをお用いください）

おいのり　礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしょ　マタイによる福音書 5 章 43 節～48 節

「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあろうか。徴税人でも、同じことをしているではないか。自分の兄弟にだけ挨拶したところで、どんな優れたことをしたことになろうか。異邦人でさえ、同じことをしているではないか。だから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」

おはなしとおいのり　「まったき愛の人に」　門脇献一校長

イエス様は「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」と命じておられます。
皆さんには、嫌いな人、苦手な人はいますか？　ある日、「（その）嫌いな人を好きになりなさい。」と言われたらどうしますか？　「はい、好きになります。」とはいえませんよね。だって、嫌いなんだから。自分の心は自分のものだけど、「嫌いなものを好きになれ！」と自分の心に命令しても、好きにはなれません。たとえば、嫌いな食べ物を思い浮かべてください。たとえばピーマンだとしましょう。自分に「ピーマンを好きにな一れ！」と命令しても、好きにはなれませんね。いくら、ピーマンが身体によいとわかっていても食べられない。これが私たちの姿です。私たちはそのままでは「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈る」ことはできないのです。

ではなぜイエス様は私たちに「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」と命じたのでしょうか。それは「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈る」ことが神様のまことに望んでいることであり、イエス様が「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈る」ことを完全に行った救い主であるからです。神様にそむいて、神様に罪を犯した私たちは、言ってしまえば神様の敵です。イエス様は、神様の敵であるである私たちを救うために、私たちのところに来てくださいました。そして、イエス様はそのご生涯をとおして、「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈ら」れました。イエス様は罪びとである私たちを愛してくださり、私たちのために祈り、ついには私たちの受けるべき罰をひきうけて十字架にかかってくださいました。

イエス様は私たちの救い主です。そして、私たちを神様の敵から神様の子どもへと変えてくださる救い主です。最初にも触れたように、私たちにとって、「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈る」ことは大変に難しいことです。でもまずは、私たちを救ってくださったイエス様が私たちを、イエス様のような「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈る」者に変えていってくださるように祈るところから始めた

いと思います。

おいのり
天の神様、私たちは自分にいじわるした人には優しくできないものですが、このような私たちを愛して十字架にかかってくださったイエス様を思って、敵を愛し、敵のために祈ることの出来る人にしてください。イエス様によってお祈りします。アーメン

⁂　小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂２階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

１０１、あいをください（こどもさんびかをお用いください）